

第26期報告書

2015年1月～2015年12月

NVC Flash

株主の皆様へ

業績ハイライト・
当期の業績・
次期の見通し

コラム：まなぶ君とゆく! NVCトピックス
製品のご紹介
会社概要／株式情報

特集 カレンダーで見る2015年12月期

NVC NETWORK VALUE COMPONENTS
株式会社ネットワークバリューコンポネンツ

証券コード 3394

株主の皆様へ

パートナーとの協業を推進すると共に
新規製品・サービスの拡販を通じて、
更なる事業の発展に取り組めます。



代表取締役 渡部 進

平素は格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに第26期（2015年12月期）の事業並びに決算の状況につきましてご報告申し上げます。

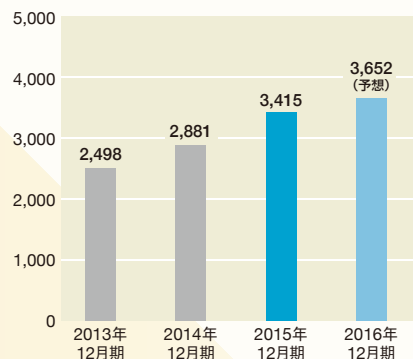
当期におきましては、大幅な増収増益を達成し、経営基盤をより一層強化いたしました。

次期につきましては、引き続きセキュリティ・ネットワーク・クラウドの3分野での事業展開に注力し、更なる安定と成長の実現を目指してまいります。

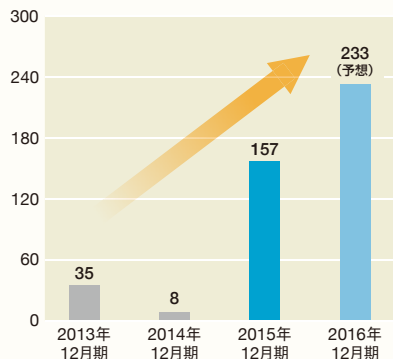
株主の皆様におかれましては、何卒ご理解を賜り、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

業績ハイライト(単位:百万円)

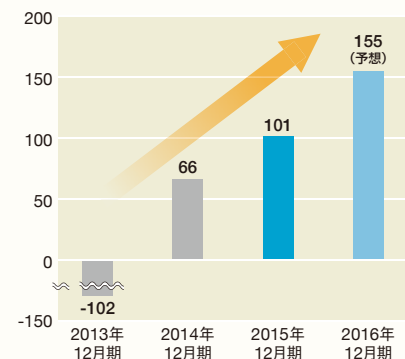
■ 売上高



■ 経常利益



■ 親会社株主に帰属する当期純利益



当期の業績

官公庁向けの大型案件の他、自社サービスが堅調に推移した結果、前期に引き続き2桁増収。
利益面でも、営業利益・経常利益・当期純利益につき、いずれも大幅な増益を達成。

ネットワーク市場におきましては、標的型攻撃、DDoS攻撃等の新たな脅威やスマートフォンやタブレット端末の普及やクラウドサービスの進展によるIPトラフィック等の増加等、ネットワーク上での様々な課題に対する取り組みが着実に進展しております。

このような状況の中、当社グループは、引き続きパートナーとの協業を推進すると共に、ThreatSTOP等の新規製品・サービスの拡販に努めました。

当期においては、新たにNSFOCUS社のAnti-DDoS製品、トムソーヤ ソフトウェア社のビッグデータ可視化ソフトウェア開発キットの取扱を開始したほか、「NVCプライベートSOC運用支援サービス」等の各種自社サービスのメニューの拡充やサービス運用部門への統合によるサービス品質の向上を図り、高度化するセキュリティ対策への対応を推進しました。

ネットワークソリューション事業は、官公庁向けの大型案件を含め、セキュリティや無線LAN関連製品が好調に推移し、ネットワークサービス事業につきましても、ネットワークの保守・構築といった従来型のサービスに加え、マネージドVPNサービス等の自社サービスが堅調に推移し、

売上高は前期を大きく上回りました。

利益面につきましては、円安による仕入原価の上昇や低採算案件の影響により売上総利益率は低下したものの、売上高の増加により、売上総利益は前期を上回りました。営業利益及び経常利益は、のれん償却費を始めとした販売費及び一般管理費の減少により前期を大きく上回りました。当期純利益につきましても、投資有価証券の評価損及び商品評価損の計上があったものの前期を大きく上回りました。

この結果、当期における売上高は3,415百万円（前期比18.5%増）、営業利益は170百万円（前期比492.6%増）、経常利益は157百万円（前期比1,819%増）、当期純利益は101百万円（前期比53.1%増）となりました。

次期の見通し

より高度で高い付加価値を提供すべく、セキュリティ・ネットワーク・クラウドの主力3分野に注力してまいります。

当社グループでは、引き続き先端的なネットワーク関連商品の投入、パートナーとの協業強化、自社サービスの推進といった活動を通じて、セキュリティ・ネットワーク・クラウドの3分野での事業展開に注力してまいります。

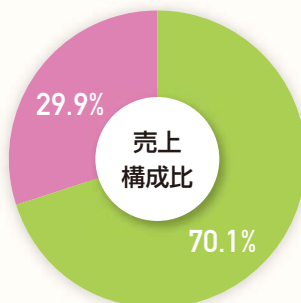
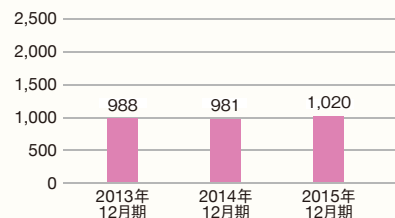
以上により、2016年12月期の当社グループ連結の業績見通しにつきましては、売上高3,652百万円、営業利益251百万円、経常利益233百万円、親会社株主に帰属する当期純利益155百万円を見込んでおります。

■ 事業部門別

ネットワークサービス事業

ネットワーク構築等のサービス及び保守、マネージドVPNサービスを始めとする当社独自のサービス商品が堅調に推移し、前期を上回りました。

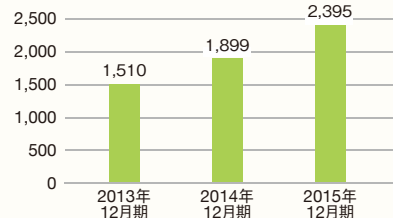
■ 売上高（単位：百万円）



ネットワークソリューション事業

Fortinet社やFireEye社を始めとするセキュリティ関連商品や無線LANのAruba社商品が好調に推移し、前期を大きく上回りました。

■ 売上高（単位：百万円）



1月27日



授賞を受ける
代表取締役 渡部進



トロフィー

Aruba Networks社より受賞

Aruba Networks社より、「Japan 2014 Top Year/ Year Growth VAD」を受賞しました。この賞は、2014年度にAruba Networks社製品を日本国内で販売した代理店の中で最も販売成長率を伸ばした会社に贈呈されるものです。Aruba製品の引き合い好調を受け、今後とも販売の拡大を目指します。

4月22日

ファイア・アイ社と ゴールドパートナー契約を締結

当社は、2011年より、ファイア・アイ社の標的型マルウェア防御システム製品FireEyeの販売を開始すると共に、導入・運用支援サービスを提供してきましたが、ファイア・アイ社のリセラー制度新設に伴い、ゴールドパートナー契約を締結しました。



ゴールドパートナー契約締結により、当社のセキュリティビジネスがより充実いたしました。

1月

2月

3月

4月

5月

6月

2月23日

NSFOCUS ジャパン株式会社と 国内販売代理契約を締結

NSFOCUS Information Technology Co., Ltdの日本法人であるNSFOCUSジャパン株式会社と日本における販売代理店契約を締結し、国内販売を開始しました。

同社の製品およびサービスを取り扱うことにより、DDoS攻撃等の新たな脅威に総合的かつリーズナブルに対応するソリューションの提供が可能になりました。

NSFOCUS



Anti-DDoSシステム

5月20日

「NVC ThreatSTOP サービス」を提供開始

標的型サイバー攻撃を強力にブロックするスレットストップ社のIPレピュテーションサービス、ThreatSTOPを運用支援する「NVC ThreatSTOPサービス」の提供を開始しました。

ThreatSTOP

ThreatSTOPは、インバウンドとアウトバウンドの標的型サイバー攻撃両方を効率的に停止させユーザのネットワークを保護する点で、信頼性の高いクラウドベースのサービスです。

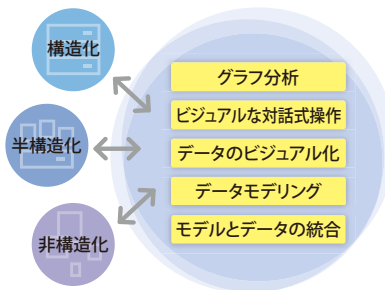
ユーザの状況に応じThreatSTOPをさらに使い易くする当社独自の「NVC ThreatSTOP サービス」を提供することにより、保守運用サービスがより一層充実しました。

10月13日

トムソーヤ ソフトウェア社と国内販売代理店契約を締結

トムソーヤ ソフトウェア社と国内販売代理店契約を締結し、同社が開発したデータ可視化ソフトウェア開発キット（トムソーヤ パースペクティブ）の販売を開始しました。

トムソーヤ パースペクティブは構造化データ、準構造化データや非構造化データ同士の関連性を簡単かつフレキシブルに可視化するアプリケーションの開発を手助けするキットで、トムソーヤ パースペクティブにより開発されたアプリケーションは、増大するビッグデータの関連性分析に対するニーズに応え、様々な用途で活用されています。



トムソーヤ パースペクティブの特長

7月

8月

9月

10月

11月

12月

10月27日

中国新聞グループケーブルテレビ局の自主放送用システムのエンコーダとして、子会社イノコスが取り扱うHarmonic社の製品が採用

当社連結子会社の株式会社イノコ社が取り扱う

Harmonic社のハイエンド放送用エンコーダ『Electra™ シリーズ』が、中国新聞グループのケーブルテレビ局2社（株式会社ふれあいチャンネル・株式会社ひろしまケーブルテレビ）で共通運用する新自主放送用システムのエンコーダとして採用されました。これにより、国内のケーブルテレビ業界としては初のHD×3番組の放送が開始されることとなりました。

harmonic



Electra™ 8200

11月16日

ニュータニックス社のハイパーコンバージドインフラストラクチャ製品を株式会社寺岡製作所に導入

粘着テープの総合メーカー・株式会社寺岡製作所にニュータニックス社のハイパーコンバージドインフラストラクチャ製品「Nutanix Xtreme Computing Platform NX-3060 シリーズ」を導入しました。

同社ではこれまで仮想インフラの煩雑な設計が問題となっておりましたが、短期間での基幹システム更改を実現し、仮想環境の設計・管理工数を大幅削減に貢献しました。

導入



まなぶ君とゆく! NVCTトピックス

このコーナーでは、当社の新たな動きやトピックスについて解説していきます。

今回の
テーマ

サービス部門を強化!!

今回は、昨年1月に当社が「ユニファイド・セキュリティ・サービス部門」を新設した趣旨についてご紹介します。

NVCの
トピックスについて、
教えてほしいな。



まなぶ君
好奇心旺盛な中学生。
NVCについて勉強中。



NVCは、サービス部門を強化して
保守運用をより充実
させていくんだね!

Q. ユニファイド・セキュリティ・サービス部門って何?

A. 各種セキュリティサービスを統合して できた新部門です。

当社は、2014年から、サイバー攻撃対策として、お客様のサイバーセキュリティを支援するプライベートSOC運用支援サービスを開始し、運用を行って来ました。

その運用過程において、従来、保守運用の部門で行っていたマネージドサービスを統合することにより、より迅速な運用が可能になると判断し、新部門を新設しました。

ユニファイド・セキュリティ・サービス部門ではプライベートSOC運用支援サービス、ThreatSTOPサービス、Webサーバ脆弱性診断サービス、マネージドVPNサービス、マネージドUTMサービスを提供しています。

Q. 統合の効果は出ていますか。

A. 情報把握の効率化が図れています。

ユニファイド・セキュリティ・サービス部門では、サイバーセキュリティに対しての解析ノウハウや運用を組み合わせて、顧客企業に対して、より質の高いサービスの提供が可能になると考えています。

最近の傾向として、システムやソフトウェアの脆弱性が増えており、運用負担が劇的に増加しています。当社取扱製品についてのベンダー経由の脆弱性情報とネット上にオープンに発信される脆弱性情報を含め、ユニファイド・セキュリティ・サービス部門で一括して取りまとめ対応することにより、情報把握の効率化が図れています。

統合の効果が発揮
されているんだね。
更なる展開に期待しちゃうな。



製品のご紹介

データ・セキュリティの
トータル・ソリューション “Imperva”

近年、サイバー攻撃は巧妙さを増し続けており、大企業や官庁だけではなくあらゆる規模の組織がセキュリティ対策を余儀なくされています。

なかでもサイバー攻撃による情報漏えいは大きな問題となっており、攻撃を防ぎ情報漏えいを防止するために、インターネットと社内ネットワークとの接続部分で対策する製品や、社内ネットワークの内部で対策するものが様々なベンダーから提供されています。

IMPERVA®

当社は、業界リーダーであり、サイバー攻撃から高度なセキュリティ機能によって社内ネットワークを防御することで情報漏えいを防止する、米国Imperva社の製品を2006年に取扱いを開始し、現在以下の製品を販売しています。



入口対策

Incapsula

クラウドサービスとしてDDoS対策やWAF（Webアプリケーション防御用ファイアウォール）の機能を持つ。

入口対策

SecureSphere
(for WAF)

オンプレミスベースでWAFの機能を持つ。

内部対策

(SecureSphere)
DB Firewall

オンプレミスベースで社内ネットワーク内部においてデータベースを防御する。

また、当社はImperva製品の販売に加えて、2014年より提供中の「NVCプライベートSOC運用支援サービス」の一部にも同社製品を利用しています。

会社概要 (2015年12月31日現在)

商号	株式会社ネットワークバリューコンポネツ
本社設立	神奈川県横須賀市小川町14番地ー1 1990年4月
資本金	381,493,550円
従業員	連結88名（単体79名）
主な事業内容	コンピュータネットワークをベースとした ●製品の企画、開発、輸入、販売 ●コンサルティング ●システム設計、システム設定・設置 ●システム監視、システム管理、保守・メンテナンス ●運用サービス

役員 (2016年3月29日現在)

代表取締役	渡部 進	(わたなべ すずむ)
取締役	渡部 美津子	(わたなべ みつこ)
取締役	太田 祐樹	(おおた ゆうき)
取締役	寺田 賢太郎	(てらだ けんたろう)
取締役	荒井 祐二	(あらい ゆうじ)
取締役(監査等委員)	木下 耕太	(きのした こうた)
取締役(監査等委員)	倉田 勲	(くらた いさお)
取締役(監査等委員)	安田 正敏	(やすだ まさと)

株式情報 (2015年12月31日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	3,200,000株
発行済株式の総数	963,500株
株主数	1,147名

大株主

株主名	持株数	持株比率
渡部 進	248,800	26.05%
有限会社シークス	246,000	25.76%
新日鉄住金ソリューションズ株式会社	30,000	3.14%
渡部 美津子	27,800	2.91%
株式会社SBI証券	21,500	2.25%
橋本 文男	10,000	1.05%
渡部 耕平	7,200	0.75%
渡部 慎平	7,200	0.75%
日本証券金融株式会社	7,000	0.73%
太田 祐樹	6,800	0.71%

(注) 1. 当社は自己株式8,400株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。
2. 持株比率は自己株式（8,400株）を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日まで
期末配当金 受領株主確定日	12月31日
定時株主総会	毎年3月
株主名簿管理人 特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel 0120-232-711（通話料無料）
公 告 方 法	電子公告により行います。 公告掲載URL http://www.nvc.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

〈ご注意〉

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

